

# Symantec Endpoint Protection 11.0 MR4 : インストールと移行

## コース概要

Symantec Endpoint Protection (SEP) 11.0 MR4 : インストールと移行 のコースは、ウイルス対策、スパイウェア対策、クライアントファイアウォールのアーキテクチャーを理解し、インストールとクライアント配備を行うネットワーク管理者、IT セキュリティ管理者、システム管理者のため構成されています。コース内容には、SEP の設計から、マネージャーのインストール、クライアントの配備の方法が含まれます。また、旧 SAVCE や SCS からの移行方法についても学習します。

## コースタイプ

インストラクター主導

## コースコード

TCJP-IL-TRNG-DAY

## 期間

2 日間 (10:00-17:30)

## 価格

147,000 円 (税込)

## コース目的

このコースを終了すると、次の内容を習得できます。

- SEP 製品の機能、コンポーネント、システムアーキテクチャーの理解
- SEP 環境のインストール方法
- エンドポイントセキュリティストラテジーの設計
- 旧バージョンからの移行方法
- グループ、場所、階層構造の管理方法

## 受講対象者

SEP 環境を設計、構築する責任のある方。また、SEP のインストールや設定、日々の監視やトラブルシューティングを行う方。

## 前提知識

基本的なコンピュータ用語、セキュリティ知識、ネットワーク (TCP/IP など) と Windows 環境の管理者レベルの知識

## 実習環境

Windows (日本語環境)

仮想コンピュータ (VMware) を使用したネットワーク環境

## コース内容

### 紹介

- コース紹介
- 実習環境について

### SEP 製品ソリューション

- SEP の機能の概要
- SEP のコンポーネント
- SEP ポリシーとコンセプト
- デザインとサイジング要素

### SEP のインストール

- インストールのためのシステム要件
- サーバーとクライアントのインストール前の準備
- Symantec Endpoint Protection Manager (SEPM) のインストール

### SEP の管理

- SEPM の重要なファイルやサービスの認識
- SEPM の起動と操作方法
- ポリシーのタイプとコンポーネントの説明
- SEPM とコンソールの接続の説明

### クライアントの配備方法

- クライアントインストール前の準備
- クライアントインストール方法の選択
- 管理クライアントのインストール
- 管理外クライアントを管理するための方法
- クライアントのスキャン方法
- ユーザー環境の管理方法

- グループ、ポリシー、場所の管理

#### Active Directory との統合

- Active Directory とは？
- Active Directory と SEPM との関係
- Active Directory との統合の方法
- Active Directory の使用方法

#### SEP への移行

- 旧 SAVCE と SCS 環境からの移行準備
- SEP 11.0 MR4 への移行の実施方法
- 他の配備方法の説明

#### エンドポイントセキュリティの設計

- アーキテクチャーとサイジングの要素
- SEP 環境の設計
- クライアントと SEPM の接続間隔
- クライアントの配備方法
- SEPM とデータベースのサイジング
- 実装後の継続管理

#### 注意事項

このコースはバージョンSEP 11.0 MR4 対応です。  
実習環境、および実習手順書は日本語です。  
講義用テキストには一部英語が含まれます。

■ お問い合わせ先  
株式会社シマンテック 教育本部トレーニングセンター  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44  
赤坂インターシティー 9F  
TEL : 03-5114-4300 (平日 9:30-18:00)  
FAX : 03-5114-4011 (24 時間)  
E-mail : [EduJapan@symantec.com](mailto:EduJapan@symantec.com)  
URL : [www.symantec.com/jp/training/](http://www.symantec.com/jp/training/)